

メッセージ題「主をほめたたえよう」 <先週の講壇より>

「わたしは今、主をほめたたえる」 創世記 29:35

人をだまして上手く生きてきたようなヤコブでしたが、今度は自分がだまされるということになってしまいます。そのためにレアとラケルという二人のお嫁さんをもらうことになってしまったわけですが、この一連の出来事の中で最も痛みを受けたのは姉レアではないかと私は思うのです。妹ラケルだけが愛され、自分は見向きもされない…。しかし神様は、レアを見捨てることも見離すこともなさらず、次々と子供を与え、彼女は慰めと癒しが与えられ、やがて主をほめたたえる者へと変えられたのでした。

私たちの教会ではゴールデン・イヤーズ・クラブ、日本では敬老の日でした。徳川家康は「人の一生は重荷を負うて遠き道を行くがごとし」と言ったそうですが、まさにその通りなのかも知れません。しかし神様は、あのレアの苦しみをそのままにはなさらなかった。そう、主は私たちの人生にも癒しを与え、慰めを与え、喜びを与えてくださるということを、改めてこの聖書の箇所から確信したことです。



オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ

《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は 1977 年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は 1921 年に創立され、現在は日英両語合わせますと 2000 名を越える会員になります。私たちの教会は 18 世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3 世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2021 年 9 月 26 日

オレンジ郡 キリスト教会

礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「あなたがたは、いのちの言葉を堅く持って、彼らの間で星のようにこの世に輝いている。」

ピリピ 2 : 15

☆ 集会案内 ☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40
ブレイク : 10:45-11:00
バイスタ : 11:00-12:00
みふみ会 : (水) 10:00-
定例祈祷会 : (水) 18:30-

